

湘南地区連絡協議会 5.11 道路調査

日 時 2020年05月11日(月)8:30~15:00
場 所 藤沢市内
行 動 者 萩原 和彦(丸全昭和運輸労働組合)
萩原 弘達(日新労働組合)
望月 博巳(県連)

調査報告

①いすゞ自動車北門周辺

- ・いすゞ自動車から、運搬車両は北門右折禁止としている。その先の生活道路へ右折し迂回するトラックがいる。迂回ルートを選定が必要。
- ・迂回路：新東山田～遠藤東～藤沢北警察署～夏苺～北門 所要時間 15分
- ・迂回路：新東山田～菖蒲沢大下～南門先～藤沢北警察署～夏苺～北門 所要時間 12分

②県道22号線 右折侵入禁止

- ・片側2車線、交通量の多い区間。県道22号線から生活道路へ右折する場合はかなり渋滞する。
- ・生活道路から、2車線を横断するのはやはり危険。(夏苺→新東山田間 左側8路地・右側5路地)

③城南3-20 県道44号線と県道43号線分岐信号

- ・バイパスから県道44号線への『青』信号25秒と極端に短く、『赤』60秒と意味なく長い。
- ・県道44号線小田原方面1つ目の信号『青』信号45秒『赤』信号40秒。バイパス側からの青と連携させるべき。

④藤沢市役所前信号

- ・手前の信号と脇道からの信号について確認したが、運転していて気にならない程度であった。

⑤藤沢駅南口 駐輪場周辺

- ・現地伐採作業のため駐輪場の出入り口は誘導の方がいて安全であった。しかし、駐輪場の間に出入口があり横断歩道もある。左側には路上パーキングがあることから右側通行になりかなり見通しが悪い。人通りが多い時間帯もあり『一時停止』は必要。
- ・交差点の端から5M以内は駐停車禁止区間であるが、4箇所ともに実際には5M以内であった。

⑥片瀬 恒陽藤沢マンション周辺

- ・『子ども飛び出し注意』の反射看板が設置されていた。成果があった。
- ・この道路への侵入は時間帯で規制されている。しかし、クリエートの駐車場からは左右どちら

らも可能のために規制の意味をなさない状態。クリエートの出入り口に右折禁止の標識を設置すべき。

⑦川名 鎌倉踏切付近

- ・手広方面から藤沢駅方面に向かう鎌倉踏切周辺、変形交差点では手前が坂になっているため、線路から来た車が見づらい状況。一時停止は必要だろう。

⑧宮前 金倉メッキ(株)裏

- ・『大型貨物自動車等 通り抜けできません』との看板が進行方向と水平になっていた。前回調査でも同様になっていたために、しっかりした看板が必要。
- ・トンネルから来た大型貨物車には、まったく看板や標識が見えなく一旦侵入してしまえば迂回路もなく、走行できない状態となる。大きめの看板は必要。

上記の調査個所に加え『南藤沢』信号の渋滞緩和について、迂回路や規制をかけるなど、大矢市議を交えて改善に向け取り組みが必要と認識した。

【行動者の感想】

新型コロナウイルス影響により外出自粛要請期間中ではありましたが、当日は少人数でマスク着用・車内換気・アルコールスプレーを用意し、再調査を含め、幹事会で新たに提出いただいた藤沢市内全8カ所を回り、終日調査を致しました。

当初は皆さんから意見を頂き、「調査なし」で政策制度要求を提出しようと試みましたが、やはり現地調査しなければ実態把握も出来ず、「根拠もない」「実態も不明確」な要求は有り得ないという判断の下、少人数で感染拡大防止に配慮し、調査を行うこととなりました。

実際に調査を行うと、ストリートビューでみるよりも、想像以上に道が狭かったり、迂回ルートの時間を調べると想定以上に時間を必要とし、道路調査は現地に足を運ばないと何もわからないことに気づかされました。また今回再調査を行う中で、嬉しいこともありました。

それは私たちが昨年調査し、改善を要求していた藤沢市片瀬の〇〇〇〇マンション近くの公園からの「飛び出し注意」の注意喚起が実現できていたことなども確かめられ、地道な活動ではあるものの、確実に一步一步前進していること、何よりも自分たちの活動が地域貢献していることに、やりがいと喜びを感じました。

緊急事態宣言下であるものの、道路調査に動員して頂いた有志の方に深く感謝申し上げます。

丸全昭和運輸労働組合 萩原 和彦

先日、望月書記次長、丸全の萩原委員長と3人で湘南地区連における道路調査を三密にならないように注意しながら行ってきました。

今回は昨年から要望している場所も含めて7箇所の地点を実際に目で確認、歩いて確認しました。

率直に感じた事は、皆様から提出して頂いた改善要望は紙面だけの説明ではなかなか状況を把握する事は難しくやはり現地に行つてどのような状況なのかを確認する事がとても重要であると感じました。

その中でも昨年からの改善要望をさせて頂いている箇所が1つだけではありましたが藤沢市の迅速な対応により要望通りの改善がなされていた事に参加した自分も含めて一同が喜ぶという場所があり、組合を通じての改善要望の重要性を再確認致しました。

しかしながらその他の場所に於いては何も変わっていない場所もまだあり再度お願いをしていかななくてはいけないと感じる次第であります。

繰り返すにはなりますが今後もこのような活動をしっかりと行い不便さが解消され事故撲滅に繋がる様、役に立てるのであれば今後もしっかりと道路調査、改善要望を行っていきたくと考えます。

最後に3月からの新型コロナウイルス感染拡大防止の為の各種行事等が延期、中止になっておりますがやはり皆さんとお会いしながら組合活動が出来るという事はとても嬉しい事だと感じましたので1日も早く日常に戻る事を祈り願っております。

日新労働組合 萩原 弘達

